



## SSH課題研究をアラスカ大学フェアバンクス校の教職員・学生に向けて発表

本校海外科学セミナーでは、アラスカ大学フェアバンクス校の教職員と学生に向けて、SSHコース生徒が一年間取り組んできた課題研究の成果を英語で口頭発表しています。今年は、「ふたご座流星群～二点観測による軌跡解析～」、「津波の軽減を目的とした新型防波堤の開発」、「セリウムによるBZ振動反応の分離とその波形の解析」の3本の研究成果を発表しました。

大学側からは、特に津波の研究をされているDr. Elena Suleimani先生にも発表を聞いていただき、ご助言を頂くことができました。発表者からは、「英語での質疑応答で、質問の意図を聞き取ることができても、答えについての適切な英語表現が浮かばないことあったりして、難しかった」「発表は自信をもってできた」などの感想がありました。



右:Alaska brown bear  
(photo by our student)  
下:博物館外観(Web page より)

### アラスカ大学博物館を見学

今回訪問しているアラスカ大学国際北極圏研究センターの隣に大学博物館があります。

昨日は、午前中講義の前に博物館を見学しました。博物館は、アラスカ州の野生動物、地理、地誌そして民族とその歴史などが系統的に展示されていました。

36,000年前のミイラ化したアラスカのバイソンや、巨大なクマのはく製には、皆興味津々でした。

また、先住民の歴史を生活用具や儀式用具を通して展示してあったり、著名な自然写真家星野道夫氏の作品展示コーナーもあり、見どころ満載でした。



### 各自レストランで夕食！

異文化に触れよう！、も今回の海外研修の目的の一つです。アラスカ滞在3日目の夕食は、フェアバンクス郊外のフォックスにあるプライムリブステーキとシーフードで著名なレストランに旅行隊全員で行き、生徒一人ひとりが好みのメニューを注文して、舌鼓を打ちました。

このレストランの名物は650gのプライムリブステーキ。男子の多くが450gのステーキを注文する中、0君は果敢にも650gに挑戦。ペロッと平らげ、仲間を驚かせたようです。

「肉はまあ何と言っても、かなりでかい！肉厚で美味しかったです。0君は一番大きいのをペロッと平らげましたが、みんな苦労してました。」との感想が届きました。



### インターネットミーティング実施

3月4日14時(アラスカ3日20時)から本校と現地をインターネットで結んで交流会を実施しました。本校側からは1年生SRコース生徒と教職員が参加し現地生徒と今回の研修旅行について質疑応答を行いました。

「大学での講義をどうでしたか」「オーロラの感想は」「異文化で困惑したことは」などの質問に対して、「アラスカのムースの季節移動の話は興味深かった」「いろいろな形、色、帯状・カーテン状・天井全体を覆うものが観察でき、天全体を覆ったオーロラは神々しかった。」「洗浄トイレがなくて困った。食品パックがすべてが大きい」の答えがあるなど、和気藹々の雰囲気での交流会となりました。

